

ロゴセラピーは技法ではなく生きた学問である —EXP02025 オーストリア館における ロゴセラピー専門家フォーラムの意義—

福井みどり

EXP02025 オーストリアのイベント、「人生の意味に関する専門家フォーラム ヴィクトール・フランクルの人生の功績を称える」は大阪の万博会場と東京オーストリア大使館で開催され、日本ロゴセラピスト協会として共催し、大阪万博会場に福井みどりが、東京オーストリア大使館では河原理子さんが発表いたしました。今回は大阪万博会場で行われたこのイベントの意味と価値について考察したいと思います。

1. そもそも万博の開催される意味

万博（万国博覧会）とは、世界各国が参加し、科学技術、産業、文化・芸術、人類の未来像などをテーマに展示・発信する国際的な大規模博覧会のことです。1851年ロンドン万国博覧会（第1回）は、産業革命による技術革新の成果を世界に示す目的で開催されました。

初期の万博として、クリスタル・パレス（水晶宮）が造られたロンドン万国博覧会（第1回、1851年）やエッフェル塔が建設されたパリ万国博覧会（第4回、1889年）などが著名です。19世紀～20世紀前半は「国威発揚」の色合いが強く、戦後は「平和と復興」、21世紀には「環境・持続可能性」が中心テーマになるなど、その時代の国際情勢が万博に反映されてきました¹⁾。